

平成 29 年度  
事業報告書

公益財団法人 水産無脊椎動物研究所

## 平成 29 年度 事業 報告

### I. 事業の状況

平成 29 年度の事業は、前年度と同じように、事業計画に従って「助ける」「集める」「広める」事業を行った。

#### 1. 「助ける」研究助成事業

2017 年度の研究助成課題の応募数は、個別研究助成 40 課題、育成研究助成 19 課題、合計 59 課題となった。採択数は、前年よりそれぞれ一つ増やして個別研究助成 9 課題、育成研究助成 4 課題、合計 13 課題と過去最多の課題を採択した。

4 月初旬、これらについて助成金を交付した。[資料-1](#)

これによりこれまでに助成した課題数は 197 課題、助成金額の累計は 209,053,000 円となった。

#### 2. 「集める」研究情報・資料・論文の収集、図書交換、学会の聴講等

軟体動物後鰓類(ウミウシ)に関する研究情報の収集は、今年度は総種数で 4,703 種(+233 種)、プリント数で 19,118 頁(+300 頁)となった。研究情報を収集するため、日本貝類学会、日本動物分類学会、日本動物学会、日本甲殻類学会、日本サンゴ礁学会、水産研究・教育機構第 15 回成果発表会に参加し、新しい研究情報を得て、そのいくつかを「うみうし通信」に掲載した。

#### 3. 「広める」研究情報や海の無脊椎動物の知識を普及啓発すること

##### 1. 「うみうし通信」

当財団の広報誌であり、博物館・研究所等との交換図書にもなっている。今年度は No. 95~No. 98 まで 4 号を発行した。

印刷部数は 1,600 部、配布部数は 1,200 部、有料配布は「うみうしくらぶ」会員。無料配布は、国会図書館、水産庁、水産研究所、水族館、大学、及び財団関係者である。

##### 2. 「うみうしくらぶ」

「うみうしくらぶ」の期末会員数は 291 となり、個人会員 280 名で前年度より 12 名減少(退会 14 名新入 2 名)、法人会員は変わりなく 11 社となった。会費収入は 533,000 円、その他の収入と前期繰越金の合計により、収入合計は 690,815 円となり、これを受取会費として収入に計上した。一方支出は、「うみうし通信」の発行費用が 4,429,431 円、1 部単価 692 円で、会員の費用負担分は 899,600 円となった。また事業費(わくわくウオッチング・勉強会の費用)の合計は 1,173,472 円

となり、その結果財団のうみうしくらぶ負担分は 539,408 円で、前年度より 22,390 円増加した。

### 3. 見学会

第 11 回「親子で楽しむ海の生き物わくわくウォッチング」を、例年と同じ観音崎自然博物館で開催した。大人 51 人子供 39 人合計 90 人が参加し、博物館の河野えり子館長とボランティアの方々のリードで実施した。例年より干潮が遅いため、はじめに 2 班に分かれて海藻のおしばづくりを行い、その後、磯へ移動して海の生き物ウォッチングを行った。博物館の中庭の芝生で昼食をとった後、採ってきた生き物を観察し、観察した生き物についてのまとめをおこなった。また参加者は博物館の展示を見学し、博物館からは 1 グループに一冊、「磯の生き物ガイドブック観音崎編」をいただき、見学会は無事終了した。

### 4. 勉強会（7 月 11 日～13 日）

「うみうしくらぶ」の会員を対象とした第 23 回「磯の生物勉強会」は、東北大学大学院農学研究科の青木優和准教授にお願いし、宮城県にある女川フィールドセンターにて開催した。女川町は 2011 年に発生した東日本大震災の復興の途中で、フィールドセンターも津波で被災し、施設は震災後に新しく建てられたものである。遠方からの参加もあり、参加者は 13 名。先生方や事務局合わせて 22 名が集まった。1 日目の集合後、センターの利用説明を受けた後、青木先生から 6 つの内容に分けた講義があった。最初に、実験所の被災についてお話を聞き、津波被害の大きさや恐ろしさを改めて学んだ。さらに、先生の研究室の紹介、ご専門である葉上動物やアラメ、コシダカガンガラ、コンブノネクイムシの研究についてお話をいただいた。

2 日目は午前中に磯採集、午後に採ってきた生き物の同定と観察、青木先生のレクチャーを受けた。磯採取は、センターのある小乗浜から 30 分ほどバスで移動した小屋取浜で行い、前日に映像で見たコンブノネクイムシを現場で観察した。夜は懇親会を行い、親睦を深めた。今回は海藻とそれに共生する生物についても学ぶことができ、生態系のつながりを知ることができた勉強会であった。

## II. 財団の運営

本年度は、寄付された株式の配当金により、経常収益を増やすことができ、また、欠員であった公益目的事業を担当する職員を採用することができ、公益事業をさらに充実して推進できるようになった。

## 1. 理事会

第1回理事会 平成29年5月17日  
開催場所 銀座ブロッサム中央会館  
決議事項 平成28年度事業報告及び収支決算について  
報告事項 代表理事の職務執行の状況報告  
その他の報告事項  
出席等 決議に必要な出席理事の数5名、出席6名 監事出席1名

第2回理事会 平成29年9月8日  
開催場所 ザ・ペニンシュラ東京  
決議事項 平成28年度収支決算書類の修正について  
報告事項 代表理事の職務執行の状況報告  
その他の報告事項  
出席等 決議に必要な出席理事の数4名、出席7名 監事出席2名

第3回理事会 平成30年3月15日  
開催場所 銀座ブロッサム中央会館  
決議事項 基本財産の処分又は除外について  
平成30年度事業計画及び収支予算について  
2018年度研究助成課題について  
定時評議員会の開催について  
報告事項 代表理事の職務執行の状況報告  
その他の報告事項  
出席等 決議に必要な出席理事の数4名、出席5名、監事出席1名

## 2. 評議員会

定時評議員会 平成29年6月7日  
開催場所 銀座ブロッサム中央会館  
決議事項 平成28年度事業報告及び収支決算の承認について  
出席等 決議に必要な出席評議員の数5名、出席9名

第2回評議員会 平成29年9月11日  
開催場所 パレスホテル東京  
決議事項 平成28年度収支決算書類の修正について  
出席等 決議に必要な出席評議員の数5名、出席7名

第3回評議員会 平成29年12月7日  
開催場所 TKP ガーデンシティ PREMIUM 京橋  
決議事項 定款の変更の決議について  
出席等 決議に必要な出席評議員の数4名、出席6名

第4回評議員会 平成30年3月15日  
開催場所 銀座ブロッサム中央会館  
決議事項 基本財産の処分又は除外の承認について  
平成30年度事業計画及び収支予算の承認について  
出席等 決議に必要な出席評議員の数4名、出席6名

### 3. 専門委員会

第1回専門委員会 平成29年9月8日  
開催場所 ザ・ペニンシュラ東京  
議 題 2018年度助成課題募集要項の決定  
2015-16 育成研究助成・2016 個別研究助成報告書の評価

第2回専門委員会 平成30年2月22日  
開催場所 第一ホテル東京  
議 題 2018年度研究助成課題の審査  
理事会への推薦課題の決定

### 4. 事務的事項

#### 1. 役員人事

理事の逝去（濱野照美氏）による1名減員、現理事8名。  
評議員の退任（田中正則氏）による1名減員。現評議員8名。

#### 2. 登記

上記の登記を行った。

#### 3. 内閣府への提出と届出

平成29年

6月7日 28年度「事業報告等の提出」を電子申請により行った。  
9月8日 28年度「事業報告の変更の届出」を電子申請により行った。  
12月5日 定款の「変更の届出」を電子申請により行った。

平成30年

3月29日 30年度「事業計画等の提出」を電子申請により行った。

#### 4. 公告（情報公開）

HP上の「平成28年度事業報告書」と「平成29年度事業計画及び収支予算」そして「役員名簿」を更新した。

#### 5. 「広める」告知など

2017年度研究助成の採択課題を公表した。また「うみうし通信」の紹介やイベントの告知及び「質問コーナー」への回答を載せた。テレビ番組の制作会社からの質問にも応じた。